

poco a poco アートのたまご

え ほん

か い が

かん しょう かい

絵本と絵画の鑑賞会＋ ワークショップ vol.07

えのぐ

いろえんぴつ

いろいろな絵具や、クレヨン、色鉛筆、ペンなどで

ほそなが

かみ

ものがたり

えが

じぶん

つく

細長い紙に物語を描いて、自分だけの絵本を作ります。

ひょうし

もちろん、表紙も！

ジャバラ絵本をつくろう

☆参加無料

時：2021年12月18日（土）9:30-12:30／14:00-17:00

場所：弘前大学教育学部4階「美術制作室」

対象：幼稚園／保育園生～小学生と保護者のみなさま（各回15人）

※午前・午後は同じ内容です。ご都合のよい時間帯をお選びください。

※駐車場・駐輪場あります。 ※保護者のみなさまも制作できます。

お申込み：12月4日（土）12:00～（先着順）

「アートワールドひろさき」ウェブサイト専用ページにて

https://home.hirosaki-u.ac.jp/artworld/contact/artegg_workshop_20211218/



QRコードからアクセスできます。

お問い合わせ：artworld@hirosaki-u.ac.jp tel. 0172-39-3939（出＜いで＞）

よこにのばす？ たてにかさねる？ それとも？

ジャバラ絵本づくりWS

折りたたみ式のジャバラ絵本は、横や縦に長くのびていくのが魅力です。細長い紙の形を活かして、時間の流れや季節の移り変わり、上昇感や下降感などを表したり、物語の推移を流れるように描いていったりすることができます。tupera tuperaさんの『木がずらり』（ブロンズ新社）では、横に並べられた木々の葉で季節のうつろいが美しく表現され、また同じく『魚がすいすい』（ブロンズ新社）では大きな大きな魚の体が横にのびる骨でユーモラスに描かれています。さらに谷口智則さんの『せかいいちながいゾウさんのおはな』（文溪堂）は、とんでもなく長いゾウさんの鼻のまわりで可愛らしい物語が展開するほっこりするような暖かい絵本になっています。そして『地面の下には、何があるの？』（河出書房新社）では、地中深く降りていきます。



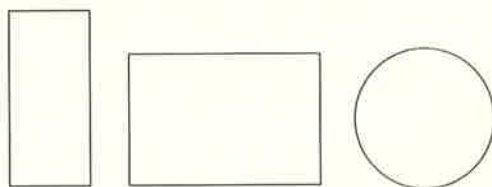
左：tupera tupera『木がずらり』（ブロンズ新社）
右：tupera tupera『魚がすいすい』（ブロンズ新社）

↓シャーロット・ギラン文、ユヴァル・ゾマー絵、小林美幸訳
『地面の下には、何があるの？』（河出書房新社）

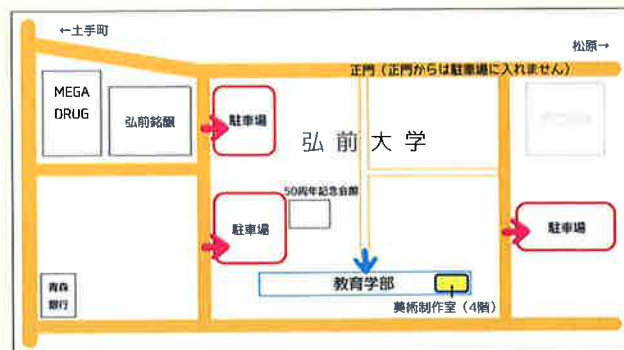


谷口智則
『せかいいちながい
ゾウさんのおはな』
(文溪堂)

画材は絵具（透明水彩／不透明水彩／日本画用画材）、クレヨン（オイルクレヨン／水性クレヨン）、色鉛筆、ペンなどの中から好きなものをお選びください。描きたいテーマによって、さまざまなニュアンスをお楽しみいただけます。絵本の形は、横長・縦長・円形の三つの中から選んでいただいた上で、表紙と中の紙をあらかじめ準備いたします。



縦長は26×10cm・
横長は15×18cm・円形は直径
約17cmです。それ以外の大き
さをご希望の場合は、お申込み
時にご相談ください。



※駐車場・駐輪場、ご利用いただけます。